

## 令和7年第8回教育委員会定例会 会議録

1 開催日時 令和7年8月20日（水）午後1時30分～午後2時40分

2 開催場所 春日井市役所9階 教育委員会室

3 出席者

【教育長】 児島 靖

【委員】 浅井 敦臣

【委員】 竹田 卓弘

【委員】 向 文緒

【委員】 河合 香吏

【事務局】 教育部長

いきがい創生部長

教育総務課長

同 課長補佐

同 主査

同 主事

学校教育課長

同 主幹（教）

同 主幹（事）

同 指導主事

同 課長補佐

学校給食課長

文化財課長

野外教育センター所長

同 主幹

いきがい推進課長

図書館長

森本 邦博

塚本 滋

宮寄 英介

田之上 愛子

砂田 恭平

田中 綾乃

前原 敦

梶田 英男

梶田 傑

湯浅 公

深見 健司

加藤 純也

北野 将好

神戸 明子

坂野 年伸

大野 利重

松田 健作

4 議 題

(1) 議案に対する意見について

- (2) 春日井市立郷土館の設置および管理に関する条例施行規則を廃止する規則について
- (3) 愛知県教科用図書採択地区の適正規模化に係る意向確認について
- (4) 全国学力・学習状況調査の調査結果の取扱いについて
- (5) 教職員等の処分について

## 5 報告

- (1) 学校の適正規模等に関するアンケート結果について

## 6 議事概要

教育長	本日の傍聴者は1名。
教育長	春日井市教育委員会会議規則第6条第2項の規定により、会議録署名人は、浅井委員を指定。
教育長 (報告事項)	<p>学校の夏季休業もあと11日となった。立秋も過ぎ、23日は暑さが峠を超えて後退を始めると言われる処暑である。暦の上では秋の始まりだが、未だ猛暑日が続く、連日熱中症警戒アラートが出るなど、まだまだ暑さに細心の注意が必要な状況である。</p> <p>37回目の小学生男鹿市交流学习を昨年度参加校以外の18校の児童で、8月4日から6日の2泊3日の日程で実施した。雨が心配された時期だったが、幸いにも予想が外れ、ほとんど雨に降られることなく予定どおり進めることができた。秋田市の竿燈まつり見学、男鹿市長表敬訪問、その後、男鹿市の代表児童とともになまはげ体験、水族館見学をした。名古屋空港に到着したときに行った解散式では、充実した子どもたちの表情が見られた。27日には総合福祉センターで報告会を行う。また、男鹿市からは10月18日から春日井まつりに合わせて3日間、16名の児童が春日井市を訪問する予定である。</p> <p>夏季休業中の体育系の部活動では、市大会、愛日大会、県大会、東海大会と勝ち進んだ団体・個人が17日からの九州・沖縄地方で開かれている全国大会に出場している。春日井市からは水泳競技2名、陸上競技3名、バドミントン1名、体操競技2名の合わせて8名が参加している。文化系では、23日に静岡県浜松市で行われる吹奏楽コンクール東海大会に、地域クラブである高蔵寺中学校と藤</p>

山台中学校の合同バンド「春日井ジュニアウィンドイースト」が出場する。吹奏楽の地域クラブが上位大会に出場するのは全国的にも珍しく、春日井市でも初となる。

昨年度に引き続き、市内中学生対象のイングリッシュキャンプを26日から1泊2日の日程で少年自然の家で開催する。今年度は69名が参加し、ALTとともに2日間英語のみで生活し、その中でチームビルディングやプレゼンテーションの作成を行う。

夏季休業中の教職員の研修は41講座を今年度は開設した。その中で5講座をオンデマンドとし、各自がいつでも自主研修に役立てることを目的として行った。初任者研修や少経験者研修を始め、1人1台端末の活用研修やGIGAスクール研修など、ICT関連の研修も多く実施している。

今年度も9月1日から2学期が始まる。

教育長

「議題(5)教職員等の処分について」は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書きを適用して非公開とすること及び審議の順序を入れ替えることを提案。

教育長

議題(5)について、採決の結果、全員一致で「非公開」とし、「審議の順序を報告及び参考資料説明後にする」ことを決定。

教育長

#### 1 議題

##### (1) 議案に対する意見について

教育総務課長

資料に基づき「議案に対する意見」について説明。

竹田委員

春日井市立郷土館の廃止に至る経緯を説明してほしい。

文化財課長

郷土館は、昭和48年に市制30周年を記念して開館した建物である。その後、耐震診断を行ったところ耐震基準を満たさないということで、平成24年以降は屋外からの見学のみとしていた。このような現状や公共施設個別施設計画を受け、郷土館のあり方について検討した結果、令和6年11月の文教経済委員会において、令和8年度に郷土館を解体し、跡地を下街道の歴史を伝える場所として整備することを報告したものである。

教育長	採決の結果、全員一致で「意見なし」と決定。
教育長	(2) 春日井市立郷土館の設置および管理に関する条例施行規則を廃止する規則について
文化財課長	資料に基づき「春日井市立郷土館の設置および管理に関する条例施行規則を廃止する規則」について説明。
教育長	採決の結果、全員一致で「資料のとおり」決定。
教育長	(3) 愛知県教科用図書採択地区の適正規模化に係る意向確認について
学校教育課主幹（教）	資料に基づき「愛知県教科用図書採択地区の適正規模化に係る意向確認」について説明。
向委員	尾張東部地区に所属する市町村名を教えてほしい。
学校教育課主幹（教）	小牧市、春日井市、瀬戸市、尾張旭市、豊明市、日進市、清須市、北名古屋市、長久手市、愛知郡、西春日井郡である。
教育長	採決の結果、全員一致で「資料のとおり」決定。
教育長	(4) 全国学力・学習状況調査の調査結果の取扱いについて
学校教育課主幹（教）	資料に基づき「全国学力・学習状況調査の調査結果の取扱い」について説明。
向委員	教科に関する調査結果の平均正答数や平均正答率について、全国の数値は公表されるのか。
学校教育課主幹（教）	文部科学省のホームページに掲載されている。
向委員	県の数値は公表されないのか。

学校教育課主幹（教）	県もすべてではないが全体がわかるようなものを毎年公表している。
向委員	本市は、全国平均に比べて高いとか低いとかそういう分析結果は公表するが、具体的数値は公表しないということですね。その際に、全国や県の数値もわかるようにすることは可能なのか。
学校教育課主幹（教）	分析結果の最初のところに、全国の数値がわかるURLは記載するので、そちらを見ていただくとわかる。
河合委員	この資料は誰が見るのか。
学校教育課主幹（教）	文部科学省・国立教育政策研究所のホームページにも掲載されており、誰でも見ることができる。
教育長	採決の結果、全員一致で「資料のとおり」決定。
教育長	2 報告事項 (1) 学校の適正規模等に関するアンケート結果について
学校教育課主幹（事）	資料に基づき「学校の適正規模等に関するアンケート結果」について説明。
向委員	保護者アンケート結果の1ページを見ると、児童生徒数4,035人に対してHome&School通知数が4,992人となっていて、これが母数として回答率が計算されていると思うが、Home&Schoolに通知される方は両親が含まれるということか。
学校教育課主幹（事）	各児童生徒が通う学校の保護者が対象になっており、連絡ツールとしてHome&Schoolを使用しているため、両親のほか祖父母が登録しているケースもある。
向委員	祖父母は地域外の方の可能性もあるし、地域の方と重複する可能性もあるということか。また、世帯数ではないということか。

学校教育課主幹（事）	そのとおりである。
浅井委員	地域の方を対象としたインターネットアンケートは、どのように周知したのか。回答数は436だが、回答率はわかるのか。
学校教育課主幹（事）	回答率はわからないが、7月号広報を配布する際に、アンケート調査協力のご案内のチラシを、該当する5中学校区に25,000通ほど配布している。町内会に加入していない方もいるので、あわせて市のLINEやホームページでの周知も行った。
向委員	地域アンケートは、中学校区で回答数が示されているが、4ページの結果を見ると、「進めない方がよい」「進めるべきではない」の合計の割合が高い学校は、玉川小32.4%、西尾小27.8%、岩成台西小24.2%など小学校区で示されている。
学校教育課主幹（事）	アンケート項目の1番で小学校区を選択しているので、小学校別に計算することはできる。
向委員	玉川小は石尾台中学校区、西尾小は坂下中学校区であり、この地域の方は回答数が多いので、比較的関心が高く、反対する意見も強いということか。
学校教育課主幹（事）	保護者のアンケートと比較すると似たような傾向が出てくる。規模適正化については、どの学校区においても賛成の割合の方が多いが、反対の率でいうと西尾小や東高森台小など規模が比較的小さい学校区の方が反対の率が高くなる傾向がある。
向委員	保護者アンケート結果の回答率は42.6%となっているが、地域によってかなり回答率に差があると感じる。
学校教育課主幹（事）	2ページの各学校別回答状況に記載のあるとおり、東高森台小の保護者の回答率は高く、岩成台西小の保護者の回答率は低くなっており、回答率に差がある。

向委員	回答率の高い地域で、反対の率が高いということか。
学校教育課主幹（事）	そのような地域もあるが、賛成を超えることはない。
向委員	アンケート結果を見て、子どもは、規模が小さいから嫌だ、クラスが少ないから嫌だとは意外と思っておらず、現在の状況を良いと捉えるものだと感じた。
学校教育課主幹（事）	複数学級を経験して、どんどんクラスが小さくなっているわけではなく、また、小さいクラスからどんどん複数になっているわけでもないため、現状に不満がない子は今のままで良いと答える傾向はあると思う。
向委員	<p>西尾小や玉川小など元から規模が小さい地域とか、押沢台のようにニュータウンであっても分譲の地域で、分譲後結構長い時間が経っていて、コミュニティが成熟してきているような地域はつながりが強いので、そういう地域では統合を望まないという意見が一定数あると感じた。他方、藤山台中や藤山台小のように統合しても通学距離が遠くなりすぎず、また、人の入れ替わりも多いような地域や坂下小、神屋小のように広域だが両校とも統合を望む意見の多い地域もあるということで、やはり市内一律に適正規模のための統合を一気に進めることは難しいのではないかと思う。市として平等を意識するかもしれないが、何が公平で公正かということを考えるときには、ある程度多様性を担保することがあってもいいのではないか。そういう意味では、統合を望まない地域については、少し様子を見るとか、もう少し議論を深めるとか、建て替えにあたって小規模なら平屋で建設費のかからない形にしていくとか検討する必要がある。</p> <p>先生方の管理運営業務は大変になると思うので、運動会などの行事は中学校区単位で合同にしてしまうとか、それでも教員の管理運営の負担が重いならば、その管理運営事務のみ統合するとか、そういうことも考えてもいいのではないか。</p> <p>また、安全な登校方法の確保や送迎用駐車場についても考えていかなければならない。夕方の子どもの居場所はかなり確保されてき</p>

ているが、それに比べてやはり朝の子どもの居場所は確保が不十分であるため、あわせて考えていかなければならないと感じた。

教育長

様々な課題もあるが、地域の方と相談しながら検討していく。

○参考資料について

教育長

3 議題（非公開）

(5) 教職員等の処分について

上記のとおり、議事の経過及びその結果を明確にするためにこの会議録を作成し、教育長及び指定された会議録署名人が署名する。

令和7年9月12日

教育長 児島 靖

署名人 浅井 敦臣